

経営学部で学ぶ感性

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 論述	記述	30	120分
II 論述	記述	30	
III 論述	記述	40	
合計		100	

【出題の基本方針】

本入試は高等学校修了を前提とする受験生の幅広い「知識、知的
好奇心、観察力、洞察力、発想力、構想力、表現力(文章表現力)」とい
った複合的で総合的な能力を確認することが目的である。したがって、
与えられた題材(文章や図)の背景や意図を読み解き、そこに受験生
の有する「知識」「知的的好奇心」「観察力」「洞察力」「発想力」とい
った感性を交えた自らの主体的な見解を論理的に整理し(構想力)、そ
の内容を他者に具体的かつ明快に伝える「文章表現力」を評価して
いる。

【学習のポイント】

- ・「知的的好奇心」「観察力」「洞察力」「発想力」の深度を深めること、与えられた題材(文章や図)の背景や意図を読み解く能力を養うこと。経営学部の入試だからと言って必ずしも「経営や経済」に関する事柄に限る必要はないが、日頃から様々な身の回りの物事、新聞やニュースの報道や出来事の内面や背景(複雑な要因や構造)を想像する思考力を培う。高校の学修内容をベースに社会の出来事に関心を持ち、疑問に感じたことを自らの感性を踏まえてじっくりと深く「調べる」もしくは「考える」習慣を持ち、そうした知的的好奇心を通じて蓄積された知識を論理的に述べる練習が必要である。
- ・自らの見解を論理的に限られた字数で述べる力である「文章表現力」を培う。自らの考えや解釈を論理的に整理してまとめていく力も必要であるが、高等学校修了までに学ぶ語彙や漢字、および文章の書き方といった基本的な学習も押さえておく必要がある。